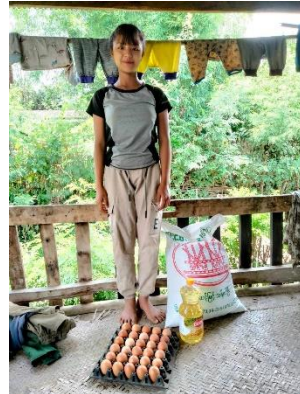




Child Needs Home

令和 4 年度 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)
年間報告書

教育支援事業



活動地はシャン州のチャイントンに位置しています。チャイントンは比較的、軍との戦いが少ない地域です。2022年6月からは学校が再開されました。しかし、クーデターや物価高騰の影響で生活がままならない状況の家庭が多くあります。学習支援と共に、引き続き生活支援（お米、油、卵の配給）も行っています。



ミャンマーの高校



ミャンマーの高校の寮

基礎教育期間が変わりました

幼稚園（5歳入学1年）＋小学校（4年）＋中学校（4年）＋高校（2年）＝11年（16歳で高校卒業）



幼稚園（5歳入学1年）＋小学校（4年）＋中学校（4年）＋高校（3年）＝12年（17歳で高校卒業）

幼稚園には行かない子もいるので、小学校1年生で入学して、1年間学んだ後も、2年生になる力が足りないなと教師が感じたら、さらに1年間1年生として過ごします。小学校卒業試験や中学校卒業試験もあり、留年することもあります。高校では進級試験もあり、高校でも留年があります。17歳で卒業できるかは、その子の能力によって異なります。高校を卒業するのは、とても大変です。高校卒業試験は大学入試試験と兼用です。点数によって、将来なれる職業が変わります。高校に3年間通っても、高校卒業できない子どももたくさんいます。ミャンマーの高校生は高校卒業試験に合格するために、寮や教師の自宅に住んで、朝から晩まで、勉強しています。

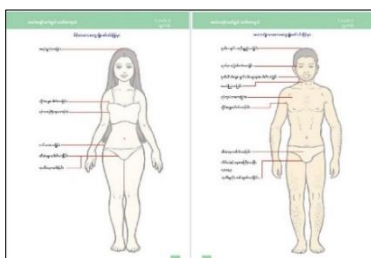
職業訓練事業



就学を終えた子ども達が、人身売買に巻き込まれないように自立できるように職業訓練を行っています。彼は、高校の勉強についていけなくなったため、高校を途中で辞める決断をしました。彼と話し合いを行い、美容師の訓練を受けることになりました。美容師の仕事は楽しいと話し、意欲的に学んでいます。1年間訓練を実施し、美容師となります。自ら児童養護施設に出向き、無料で子ども達の髪を切っているそうです。はさみ1本あれば、災害が起きても、どんな状況でも、家族を養い、子どもを育てることのできるそんな人になってほしいものです。

学習支援をしている女の子達とネイルサロンに見学に行きました。手に職をつける大切さを再度伝えました。

保健教育事業



ミャンマーの小学校の就学率が84.6%。中退率は学年が進むにつれ上昇し、高校進学率では32%と減少(2016年)。これは、家庭の貧困や親の季節労働等による影響と並んで、教育内容の質の低さや教員の能力不足が学習に対する子どもの興味・関心を阻害していることも原因と考えられています。ミャンマーの学習方法は暗記中心の状況です。お経を読むように、文章を読んで暗記しています。児童中心型教育に移行するために、2014年から2021年の間、日本の支援で小学校の教科書開発、教師教育、教員研修を行っていました。活動地チャイントンでも新しい教科書を使い始めました。新しい教科書では、小学校の教科書に二次性徴が掲載されています。女子学生を対象に月経について話をすることもあるそうですが、教師も恥ずかしがって、授業で取り上げられることはあまりないそうです。しかし、性に関する話がタブーでミャンマーで教科書に掲載されたことはかなり画期的です。

緊急支援

2022年6月8日にビニールシートを届けることができました。雨季が本格化する前にお届けすることができて良かったです。カヤー州1ヶ所の難民キャンプ39世帯155人数分のビニールシートを配布できるように117,000円(1世帯あたり3000円分のビニールシートが必要)寄贈しました。

左の写真の女性の後ろ側が、避難民の家です。
大きなビニールシートを届けることができました。



ミャンマー情勢

ザガイン地域の村では 2023 年 4 月 11 日朝、国軍に抵抗する民主派組織「国民統一政府（NUG）」の事務所開所式最中に、国軍のジェット戦闘機や軍用ヘリコプターが空爆を加えました。空爆の死者は 160 人を超え、2021 年 2 月のクーデター後で最悪規模の犠牲者数となりました。NUG によると、近隣の村の住民を含め 168 人の死亡が確認されています。死者には、生後 6 カ月の乳児ら子供約 20 人も含まれていました。



サイクロンによる被害の様子

国連人道問題調整事務所（OCHA）は 2023 年 5 月 17 日、14 日に上陸し猛威を振るったサイクロン（台風）の被災者が、ミャンマー全土で 540 万人以上にのぼるとの推計を発表した。このうち 320 万人は深刻な被害に直面しています。

サイクロンはラカイン州シットウェに上陸後、チン州やマグエ管区、マンダレー管区、ザガイン管区、カチン州等を通り、中国方面に抜け威力を弱めました。サイクロンの暴風雨によりダムの決壊や川の増水による氾濫が発生。民家のほか、病院や宗教施設などが大きな被害を受けています。

被害が大きかったラカイン州（イスラム教を進行する方々が多く済む地域）では、軍から移動許可が下りず、支援は難航しています。

クーデターが起こってから、市民は、軍に対し憤りを感じながら、普段の生活を取り戻しつつあります。その一方で、今も若者が武器を持って、国軍と戦っています。軍による村の焼き討ちは続いており、国内避難民も増えていっています。国軍に自分の故郷を焼き討ちされ、命からがら逃げて、国境を越えて国外に行くこともできず、国内の森の中で生活している人がいます。森の中で生活していますが、また国軍に攻撃をされる可能性があるため、森の中を転々と移動しながら生活しています。

- ①避難民数⇒182 万 7000 人（UNHCR）
- ②国軍による殺害者数⇒3. 620 人
- ③国軍による逮捕者合計⇒23. 228 人（18. 901 人が拘留されている）

令和 4 年度 収支計算書

	令和 4 年度決算	令和 3 年度決算
I 経常収入の部		
1 会費収入	50,000	50,000
2 事業収入	512,000	602,000
3 寄付金収入	318,850	161,600
4 助成金等収入	0	0
5 その他収入	1,209	31,412
当期経常収入合計	882,059	845,012
II 経常支出の部		
1 事業費	943,038	994,452
1)教育支援 事業	763,038	285,638
2)保健教育事業	0	0
3)職業訓練事業	63,000	0
4)緊急支援	117,000	626,366
5)継続生活支援	0	82,448
2 管理費	92,594	73,286
1)給料手当	0	0
2)会議費	0	0
3)旅費交通費	1,880	11,560
4)通信費	12,529	12,870
5)ホームページ管理費	9,220	9,220
6)運搬費	15,720	16,345
7)消耗品費	0	0
8)印刷代	10,117	5,809
9)印刷製本費	0	0
10)雑費	10,101	17,482
11)備品	33,027	0
3 予備費	0	0
1)予備費	0	0
当期経常支出合計	1,035,632	1,067,738
当期経営収支差額	-153,573	-222,726
III その他資金収入の部	0	0
その他の資金収入合計	0	0
IV その他資金支出の部	148,869	0
その他の資金支出合計	148,869	0
当期収支差額	-302,442	-222,726
前期繰越収支差額	2,489,539	2,712,265
次期繰越収支差額	2,187,097	2,489,539



Child Needs Home

アジアの子どもたちに教育支援、自立支援を行う団体です

あなたの力で子どもたちの道は開けます